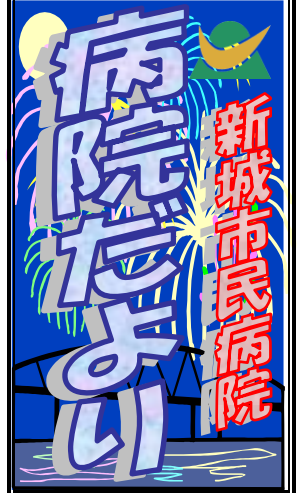


市民病院の状況

市民病院では、平成18年度のアクションプラン、平成21年度からの改革プランと経営改善に取り組んでまいりました。
平成23年度の実績についてお知らせいたします。



第69号

新城市市民病院総務課

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852

Fax 0536-22-2850

1. 救急患者受け入れの状況

救急患者については、平成18年度以降の医師不足のため、現在も受け入れ制限が続いています。

平成23年度に入り、常勤の整形外科医師を採用、また総合診療科が中心となり、平日夜9時まで時間を延長し診療範囲を広げ、救急搬送患者の受け入れに取り組んだ結果、新城市消防管内の救急車出動件数に対する当院受け入れ割合が大きく伸びました。



新城市消防管内の救急車出動件数に対する受け入れ割合

	その他	豊川市民病院	圏域内他病院	新城市市民病院
平成22年度	29.8%	27.6%	17.0%	25.6%
平成23年度	23.2%	22.5%	14.4%	39.9%

2. 患者数の推移

近年、入院患者数、外来患者数ともに減少していたが、平成23年度は入院患者数が大幅に増え、外来患者数も下げ止まりました。その結果、病床利用率が改善されました。

患者数（1日平均）及び病床利用率

	平成22年度	平成23年度
入院患者数	108.5人	128.6人
外来患者数	389.6人	407.1人
病床利用率	40.0%	47.5%

3. 経常収支の状況

平成23年度は、平成13年度以来の黒字となりました。

(単位：千円)

	平成22年度	平成23年度
収入	3,656,106	3,939,339
支出	3,818,156	3,893,082
計	▲162,050	46,257



8月25日土曜日、市民病院では初の試みとなる、『納涼祭』を開催しました。

この『納涼祭』は、「入院生活は毎日同じことの繰り返しで…」、「夏休みに孫と遊びたかった…」など、この夏、当院で入院生活を送られている患者さんが『夏』を感じていただくことはできないか…、そんな想いから病院職員有志が企画をしました。

当日は、縁日風に水風船や金魚すくい、輪投げや射的のを出したり、かき氷や綿あめ、駄菓子にラムネが



ふるまわれました。さらに、看護師は浴衣、男性職員は法被で参加し、夏祭り気分を一層盛り上げました。

ボランティアでピアノとハーモニカのアンサンブルを披露していただき、みんなで歌を歌いました。盆踊りでは、自分の顔がプリントされたオリジナル団扇を持って、市長さんも参加し一緒に楽しく踊りました。



踊りはもちろん
新城音頭！！



「青い山脈」
をみんなで
歌いました。



宝陵高校の生徒さんも
参加してくれました。

入院患者さんとそのご家族、病院スタッフとその家族が楽しめる夏祭りをイメージした手作りの企画となりました。



市民病院では、省エネ委員会のメンバーが中心となって、緑のカーテンを実施しています。

緑のカーテンとは、ゴーヤやヘチマ、アサガオなどのつる性の植物を建物の壁面に繁茂させるものです。夏の強い日差しをさえぎることで、室内の温度上昇を軽減し、エアコンを効率的に稼働させ節電できるなどの効果があります。うまく葉っぱのカーテンができると、その外側と内側では7℃以上の気温差が出ることもあるそうです。

今年は、一階正面玄関南側と、3階透析センター西側に、アサガオとキュウリ、ゴーヤを植えて育てています。

1階正面玄関南側



3階透析センター西側

